

みぞくちミニ新聞

発行元
みぞくち

購読無料
毎月発行

餅作業の季節が

やっできました

9月半ば、所長の実家は稲刈りを始めた。ということは、新見から仕入れているヒメノモチも収穫の時期。と考えていると、さっそく森田サビ管が新米のヒメノモチを仕入れてきた。数日後、朝から調理用の白衣を着た利用者の皆さんの姿があった。

餅の作業と並行して

「今年も餅作業が始まるねー」と声をかける。「うん！」と元気な返事。やる気が伺える。これから年末に向けて、日に日に忙しさが増していく。去年の段取りをしつかり思い出して、段取り良く作業を進めてほしい。忙しくなると、利用者の皆さんも心の余裕がなくなりがち。職員もその辺には十分気を配って、やりがいのある作業として毎日励んでほしい。

今年のもち米の出来はどうでしょう？おいしいお餅を皆さんにお届けできるように、頑張ります。

旧厨房の餅作業場化を進めている。手狭だった現餅作業場をゆったり作業しやすい環境へと変えていく。その最初の一步は掃除。排水溝から屋内壁、エアコンに至るまでこれでもかというくらいキレイにする。長年使ってきた排水溝やエアコンは、やはりそれなりに汚れている。特に排水溝は業者でなければ対応できない。そこは専門業者に依頼。概ねキレイになった。だが、まだ臭いが取れない。高圧洗浄機を使い、汚れの酷いところは所長とサビ管が時間のある時に徹底的に掃除した。仕上げは就労グループの職員と利用者の皆さん。エアコンのフィルターや屋内壁の拭き掃除を中心に念入りに取り組む。

とこで、今後の段取りとしては、業務用シンクや作業台を入れ、餅の作業がいくらかできるように整える。その後は予算と相談しながらだが、機械式の杵つき機、業務用スチーマー等揃えていき、商品の「ひめのほっぺた」のラベルの横に「杵つき」とシールを貼るのが最終段階。

もうしばらくの時間はかかるが、間違いなく今よりおいしい「ひめのほっぺた」をご賞味いただけるはず。

「ゆうあい文化祭」 動画撮影開始

9月末、前々回お伝えした、ゆうあい文化祭用動画の撮影を開始した。どうやら演劇風のみぞくち紹介動画のようだ。登場するキャストは生活グループ・就労グループ問わずやってみたい人。就労の職員林さんが監督・助監督・脚本・カメラ・演出・編集(いわゆる全部です)を引き受ける。時折、他の職員からの演出(ちゃちゃ)も加わる。利用者の皆さんはそれぞれに楽しみながら撮影は続く。

この動画が完成し、岡山県知的障害者福祉協会が主催する「ゆうあい文化祭動画」が配信されたのち、ご家族の皆様で鑑賞希望の方にはDVDでご覧いただけます。10月に入ってもまだ撮影は続く。

覚えてますか？

ラジオ体操第2

毎日の活動の始まりに、生活グループはラジオ体操をする。久しぶりに所長も一緒にやってみる。肩が上がるらない腰が反らない、ラジオ体操でも一苦労。ようやく済んだと思いきや、続けてラジオ体操第2が流れている。所長の記憶では、ラジオ体操第1は運動会を

はじめ、いろんな場面でもやった。だが第2は夏休みの6時30分、子供たちが集まってラジオ体操出席カードにハンコをもらう時だけだった。

ラジオ体操第2、覚えているだろうか？横目で他の職員さんの動きを見ながら、かろうじて最後まで出た。だいぶん息が乱れている。利用者の皆さんは平気な顔で次の活動に向かう。若いっていいな！